

令和2年度 第1回北海道立釧路芸術館運営協議会議事録

日 時 令和2年7月22日(水) 午後2時00分～午後4時00分
場 所 北海道立釧路芸術館 アートホール

○出席委員 13名

○館出席者 6名

○釧路芸術館共同事業体運営委員会

運営委員会 委員長代理 1名、委員 1名

【議 事】(1) 令和元年度事業報告

- ア 展覧会事業
- イ 芸術・教育普及事業
- ウ 施設の利用状況
- エ 作品収集状況

(2) 令和2年度事業計画

- ア 展覧会概要及びスケジュール
- イ 芸術・教育普及事業・施設維持管理業務

(3) その他

1. 開 会

館長より、令和2年度第1回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催する旨の挨拶。

2. 挨拶

運営委員会 委員長代理より、運営協議会の概要説明の後、本協議会でのご意見を館の運営に反映させていきたい旨の挨拶。

3. 委員及び館職員の紹介と協議会成立について

館長より、令和2年度第1回北海道立釧路芸術館運営協議会の開催にあたり、就任した委員の紹介と館職員の紹介。次に、委員数14名中過半数の13名が出席となり、運営協議会規則第7条2項により成立する旨を宣言し、議事に入った。

4. 会長と副会長の選出

出席委員の互選により、会長と副会長が選出された。

5. 議 事

(1) 令和元年度 事業報告

館長より、展覧会事業の概要や観覧者数について報告。各展覧会の関連事業や観覧者の男女比率にも言及した。また、新型コロナウイルス感染予防のための休業要請を受けた臨時休館についても触れた。

次に、教育普及事業の実施状況について説明。ミュージアムコンサートや出張講座などのほか、アートギャラリー北海道みんなのアートプロジェクト 2019 の事業としては、釧路市立美術館と共同開催した「遠藤理子さんの絵とともに釧路マップをつくろう！2019」を紹介した。

観覧料に関するキャッシュレス決済の利用状況やインバウンドの観覧者数についても説明された。

また、学芸主幹が作品収集について、池田良二の銅版画の収蔵とそれらの作品を展示した「時の啓示」池田良二版画展を中心に報告を行った。

委員 「片岡球子と難波田龍起展」は良い展示だと思いましたが、観覧者があまり伸びなかった。館としてはどのように分析していますか。

学芸主幹 開催時期が冬だったことが影響しているのではないのでしょうか。他の道立館も冬季の集客が大きな課題となっています。

委員 中国で新型コロナウイルスが感染拡大していた時期とも重なっていましたが、そちらについてはどうお考えですか。

館長 1月頃からインバウンドの減少が明らかになってきましたので、影響は無きにしも非ずと考えています。

委員 芸術館ホームページの閲覧数がコロナと連動して減っているようですが、どうお考えですか。

館長 こちらも1月頃から徐々に減り始めていますが、多言語化している割にどうしてなのかと危惧しておりました。当館としましては、臨時休館中も皆さんがアートに親んでもらえるよう、学芸課の協力を得ながら、リモートミュージアムの取り組みをして挽回を目指していましたが、結果的に数字には表れませんでした。

委員 令和元年度は管理の目標達成度評価でAAAを頂けたということで、職員の皆様の努力が素晴らしかったのではと思います。

さて、その評価項目の中の「博物館等との協働・協力事業の実施」について、令和元年度の指標値では10回となっていますが、実績は45回ということで、中身はどういうものなのか教えてください。

それからもう一点、「職員の資質向上を図る研修の実施」は指標値2回に対して、実績が47回とこちらも大幅に上回っていますが、どのような内容だったのでしょうか。

学芸主幹

まず、「博物館等との協働・協力事業の実施」についてお話しします。一昨年からは北海道教育委員会が主導する形で、アートギャラリー北海道という事業が始まりました。

北海道で最初の美術館が出来たのは1967年、北海道立美術館でしたが、それから50年以上が経ち、市町村立の美術館やギャラリーがたくさん運営されていて、それぞれに地域の宝を持っています。道立美術館・芸術館がそうした道内の市町村立の美術館やギャラリーと連携して、お互いにコレクションを展示し合うというのを進めることによって、北海道全体のミュージアムの魅力を高めて活性化していこうというのが、この事業の始まりでした。

アートギャラリー北海道関連で申しますと、昨年度当館では（北海道立）近代美術館から作品を借用した「片岡球子と難波田龍起展」や、鶴居村在住の嶋崎誠さんの展覧会を開催しました。今年度では、「荒川好夫写真展・栗谷川健一ポスター展」を7月1日まで開催しております。

また、他館への貸し出しにつきましては、帯広美術館や北網圏北見文化センターへ所蔵作品をお貸しして展示して頂くということも行っておりまして、双方の交流を活性化していくことで、北海道のミュージアム全体の魅力を高めていくことに貢献できればと思っております。

さらに、別海町公民館からは、当館で平成30年度に開催した時の解説パネルを参考のためにお借りできないかという問い合わせもあり、作品の貸し借りだけではなく、学芸的な分野でのデータの提供も含めて、地域の中での協力関係を築いていけたらと思っております。

館長

研修実施数の増加について説明させていただきます。

キャッシュレス決済導入にあたりまして、間違いのないようにスタッフで勉強会を行い、導入後も展覧会ごとに学び直していますので、こちらが増加要因の一つ。

それから、展覧会の際には簡単な作品紹介ができるようにと、学芸員の協力を得まして、研修を行っております。

その他に関しましても、お客様への対応のし方や喜ばれる環境作りの

研修を多数実施しており、結果的に合計で 47 回という数字になっております。

委員 「鶴居村の簡易軌道資料展示」は芸術館の学芸員が企画されたのか、それとも釧路市立博物館の方が企画されたのかをお聞きしたいのと、もう一点、数年前まで芸術館では「我が町のお宝展」と題して、釧路・根室管内の市町村の作品をお借りして毎年展覧会を開いていましたけれど、「鶴居村の簡易軌道資料展示」はその一環としての事業なのか、まったく別のくくりなのかをお聞きしたいです。

学芸主幹 実は、鶴居村簡易軌道の資料展示は一度市立博物館で行われていまして、前任の学芸主幹が鉄道好きで、是非当館でもということ、緊密に連携して企画いたしました。

もうひとつ、「我が町のお宝展」シリーズについて、名称としては継承しておりませんが、アートギャラリー北海道関連事業や鶴居村簡易軌道の企画といった、釧路地域の文化的な資産を紹介する展覧会は毎年開催していくということにしております。後ほど事業計画でもお話ししますが、今年度は「大漁旗展」を 8 月 29 日からフリーアートルームで開催する予定です。こちらは学芸員が数年前から調査研究を重ねまして、北海道博物館や厚岸町の海事記念館から古い大漁旗をお借りすると同時に、旭川市にある染物店からも字を間違えて使い物にならなくなった大漁旗を借用しまして、華やかな展示に出来ればと考えております。

委員 アートホールの貸館の関係でお話しします。3 月 20 日頃の新型コロナウイルスの影響で臨時休館になっていた時期だと思いますが、無観客でコンサートを行いますと新聞で告知されて、その後主催者からやはり中止にしますという発表がありました。臨時休館については、ホームページだけではなく、利用者と緊密な連絡を取って情報提供をして頂きたいと思えます。

コロナに関連してもうひとつ。アートホールの席数も 100 席以下に制限ということで座席に表示がしてありますし、様々な面で苦慮されていると思えます。アートホールについて他に対策をなさっていることがあれば、お聞きしたいです。

館長 中止になったイベントとは、「リコリコリコーダー釧路」ですね。何度か話し合いがありまして、2 月に無観客で開催したいということになりました。その時点では臨時休館の指示はない状態でしたが、その後 2 月

29日からの休館指示があり、3月に延期されたと記憶しています。そうしたタイムラグがあり、最終的には中止となりました。

ホールの感染防止対策につきましては、現在のところ収容人数の50%以内でという指示が来ております。それから、演者と観客は適切な距離を取って、飛沫が飛びやすい催しに関しては特に何らかの対策を行って頂くというのもございます。さらには入場時のお客さんへの検温・緊急連絡先の記入依頼と、そういった対策を主催者の方で実施して頂きたいと文書をお渡ししてご協力頂いているというところでございます。

(2) 令和2年度 事業計画

館長より、各展覧会について概要の説明。会期が終了している展覧会については、観覧者数や展示会場の説明もあった。今般の状況で、観覧者数は相当厳しい数字になることが予想されるため、委員の皆様には宣伝をお願いしたい旨の呼びかけを行った。

引き続き館長より教育普及事業の説明。新型コロナウイルスの影響で延期や中止となった事業も。鑑賞学習支援ツール(アートカード)について多くの方に知って頂くためにロビーにて展示を行い、市内の小学校と美術団体へは貸し出しをしたとの報告。

学芸主幹から補足説明。北海道教育大学釧路校の学生の協力を得ながら、リモートミュージアムの発信を行ったことや、毛綱毅曠の建築脳展については、釧路工業高等専門学校とも連携を図る旨報告があった。また、同展の会期中には鑑賞ツアーやトークイベントも予定しているなど、困難な状況の中でもお客様に楽しんで頂けるよう様々な工夫をしていきたい旨の表明があり、報告を終えた。

委員 リモートミュージアムもそうですが、芸術館の取り組みを発信した後、いかに拡散してもらえるかが重要ですので、私も支援させていただきます。

学芸主幹 当館のSNSに関し、今まではボランティアの会SOAさんのアカウントをお借りして発信を行っていましたが、毛綱毅曠の建築脳展の開催に合わせて芸術館自身のアカウントをTwitter、Instagram、Facebookで開設しましたので、皆様是非拡散をお願い致します。

委員 冬には新型コロナウイルス感染拡大の波が来ると予想されていますが、そうした場合も何らかの形で鑑賞機会を提供して頂きたいと思っておりますし、攻めの姿勢で教育機関との連携や情報発信を行ってほしいです。

委員 帯広美術館や北方民族博物館に所蔵作品の貸し出しを行ったと先程報告して頂きましたが、これはもっとアピールした方が良いのではと思います。

ます。

学芸主幹 私に着任してから立て続けに作品の貸し出しがあり、驚いていたのですが、実はしばらくぶりの大型案件であったことがわかりました。当館は常設展が無く、所蔵作品を大々的に見て頂く機会が年度末あたりに開催するコレクション展だけですので、こうして他の館でも鑑賞して頂く機会があるというのは素晴らしいことですし、今後も作品をお貸ししたり、逆にお借りしたりという相互のやり取りは積極的に行っていきたいと考えております。

委員 コロナウィルスの影響で根室市の文化祭が中止になりまして、文化団体もなかなか発表できる場がなく、モチベーションが低下しているという声を聞きますので、釧根地域の文化団体が公演する機会を設けて頂ければと思います。こちらのホールでの開催が難しければ、リモートでコンペティション形式でもいいですので、来年度以降是非よろしく願いします。

委員 デイサービスのお仕事をさせて頂いていると実感しますが、高齢者の方も展覧会に興味をお持ちであることが多いです。SNSで展覧会の風景をアップして頂けると、デイサービスで今こんな展覧会があるよと紹介できますので、今後とも続けて頂ければと思います。
次にご質問ですが、芸術館の所蔵作品が706点ということで、実は高齢者の方で美術品を所有しているけれど、今後どうしたらよいか悩んでいるケースが結構あります。芸術館では、寄贈を受けるにあたって一定の基準というのをおありですか。

学芸主幹 道立の各館ではそれぞれ作品の収集方針を決めておりまして、寄贈したいという方がいらっしゃっても、全てを受け入れられるわけではありません。一方で、お家での作品の飾り方や保管方法を学芸員がアドバイスさせて頂くことは出来ますので、気軽にご連絡願えればと思います。

会長 先程根室の状況についてお話がありましたが、根室にお住まいの委員はいかがですか。

委員 根室市の文化協会が今年60周年ですので、実はその記念として北方四島に写真や陶芸、書、絵画を持って行って展示とギャラリートークをする予定だったのですが、出来なくなりました。来年こそは状況が許せば開催したいと考えていますが、今年については本当に残念です。

委員 釧路の状況もお話ししたいと思います。今年の釧路市芸術祭に関して芸術館で開催する分につきましては、5団体を予定していたのですが、その内2団体が中止になりまして、3団体だけ実施します。他の会場も合わせた全体で言いますと、35団体の内19団体が中止ということで、展示部門を残しまして多くが中止となりました。

舞台部門がほとんど中止という状況ですので、何らかの代替措置が出来ないかと話し合いました。「釧路市芸術祭スペシャルプログラム2020」と題しまして、無観客で動画配信をする形で、日本舞踊、太鼓、吹奏楽、バレエといった団体が1コマずつ発表するというのを予定しています。

釧路管内でも中止になってしまった催しは多いです。ですから、根室と釧路でも何か協力してできることはないかと考えております。

会長 その他ご意見はございますか。事務局からは何かございますでしょうか。

館長 当館の運営協議会は年に2回ということで、次回は2月上旬を予定しております。また近くなりましたらご案内差し上げますので、是非出席して頂ければと思います。

会長 新型コロナウイルスの関係で難しい状況が続いている中、様々な面で苦しい判断が求められ、成果も求められる。これは決して芸術だけでなく他の多くのことでも同じ実態です。社会全体が思いやりの心を持って打開策を行っていければ望ましいと考えています。委員の皆様にもぜひ釧路芸術館を応援し続けて頂ければありがたいです。

運営委員長代理より、今後も SNS での情報発信を継続していくこと等の挨拶があった。

館長より閉会の挨拶があり、北海道立釧路芸術館令和元年度第2回運営協議会は終了となった。